

■ 嵯山(きりぎしやま) |



「恐竜の背びれ」とも呼ばれる嵯山の露出した石灰岩



嵯山に生育する植物のうち、ホテイアツモリ(左)とミドリニリンソウ

星の降る里百年記念館に  
嵯山のジオラマがあります

道の駅スタープラザ芦別内にある「星の降る里百年記念館」には、嵯山を精巧に模したジオラマがあり、ここに生育する希少植物の写真などがパネル展示されていますので、ぜひご覧ください。

指揮者先頭

指揮者先頭とは、「指揮者は常に皆の先頭に立って行動する必要がある。」という意味で、私が考えた大切にしてほしい言葉です。

No. 12

ようやく春の暖かい日差しが続くようになりました。気温の低さによる農作業の遅れが心配されていますが、この広報が皆さんのお手元に届く頃は各地域で作業が最盛期を迎えていることと思います。好天に恵まれて豊稔の出来秋となることを心より願っています。

今年、芦別120周年・

市制施行60周年の節目でもあり、例年にも増して多くのイベントがありますのでその準備に大忙しです。6月9日には皆さんお楽しみみの「あしべつ寄席」があります。林家正蔵師匠をはじめとする豪華な出演者による公演ですので、ぜひ多くの皆さんにお楽しみいただければと思っています。

私も新年度を迎え、官公庁の部署の異動によるごあいさつや、公務による道内外の出張、各種団体の総会等々の連続で毎日慌ただしく過ごしていますが、体調に気をつけながら公務にまい進していくつもりです。皆様方もお身体ご自愛いただきますようご祈念申し上げます。

(平成25年5月21日・記)

芦別市長 清澤 茂宏

最

終回の今回は、芦別の自然遺産といっても過言ではない、貴重な希少植物で知られる嵯山を紹介します。

嵯

山は芦別市内から南南東約20キロに位置する標高1066mの山です。白い石灰岩の岩峰が連なり、特に頂上付近は幅100m、長さ2キロにわたって石灰岩が露出しています。この限られた範囲に約350種類の植物が共存し、特に「キリギシソウ」は世界でもここにしか生育していないな

し

ど、生物学的に貴重な山として注目されています。かし、1980年代以降の登山ブームで入山者が

増え、踏み付けが目立つようになつたのに加え、植物の盗掘が連続し、生育環境が一気に悪くなりました。このため、絶滅寸前の植物を守ろう、と1999年に芦別山岳会と国、北海道、芦別市内の木材関連業者など官民一体となって「嵯山自然保護協議会」が組織され、同時に日本で初めてモニター登山だけに

モ

ニター登山は、嵯山に登山制限の措置がとられました。

保護や登山のルールを学ぶ研修も併せて行われ、全国各地から参加者が集まっています。入山制限を行ってきた結果、かなりの部分で植生の回復が確認され、成果があがっています。最近では外来種の侵入やエゾシカによる食害も見られるなど、新たな課題もあります。



5月12日行われたFリーグプレーシーズンマッチで、エスポラータ北海道の小野寺隆彦監督から記念ボールをいただきました